

岡山の文化芸術資源を利用した身体表現作品の創作

創作ダンス普及団体こみゅちるだんす

活動の目的

本活動では、中学生以下の子供を対象に身体表現ワークショップを開催。身体表現を通じた子供たちのコミュニケーション力、思考力、創造力の育成、地域のコミュニケーション活発化を目指している。

活動の内容及び経過

■ ru (踊る)・ru (創る)・ru (観る) プロジェクト vol.2 ■

日 時：3月27日(火) 10:00~15:00 (お昼休憩アリ)

場 所：天神山文化プラザ

10:00~12:00 「踊る」ワークショップ @第4練習室

13:00~15:00 「創る」・「観る」ワークショップ @ホール

対 象：小学生~中学生

参加費：無料

講 師：古家優里

熊本バレエ研究所で学ぶ。お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。“プロジェクト大山”主宰、全作品の構成・演出・振付を担当。2009年横浜ダンスコレクションRにて「審査員賞」、2010年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」を受賞。長塚圭史演出『ガラスの動物園』(2012年)、ケラリーノ・サンドロヴィッチ作演出・ナイロン100℃『デカメロン21~或いは、男性の好きなスポーツ外伝~』(2013年)等、演劇作品の振付、NHKEテレの人気子供番組『みつけた!』では、楽曲(『じだ いげきだよ、オフロスキー』『はじまりバーン!』)の振付の他、番組コーナー『よんだんす!』にてダツイーゴ役で出演中。

■「踊る」ワークショップ(10:00~12:00 第4練習室にて)

ワークショップの前半ではまず、身体を楽しく動かした。ダンス未経験者や、ダンスに苦手意識がある子供も楽しんでできるゲーム要素を取り入れた簡単な動きで、心と身体の解放を行った。

■「創る」「観る」ワークショップ(13:00~15:00 ホールにて)

身体を思いっきり動かしたあとは、面白い動きの発見やワクワクする動きを生み出すプロセスを体験。発見した動きを、実際の舞台上で踊ってみた。後半では、舞台照明も利用し、より本格的な舞台を子供たちに体感してもらった。

■活動後は、ワークショップを終えて思ったこと、感じたことなどを模造紙に書いてもらった。

活動の成果・効果

■参加人数：30名(小学1年生~中学2年生)

スタッフ：14名



見学者：6名

■「踊る」ワークショップ

簡単なゲームを取り入れた身体表現活動により、はじめ緊張していた子供もすぐに解放的な様子に変わっていった。

■「創る」・「観る」ワークショップ

即興的に子供たち自ら動きやそのテーマを生み出す活動を行った。内気な様子の子供も、徐々に自分からアイデアを出す様子が見受けられた。

身体を思いっきり動かすワークショップは子供たちの心を解放し、初対面の子供同士でも交流が沢山行われていた。一般的なダンスのイメージとは違う、身体を自由に動かして心から楽しむ身体表現の活動は、子供たちにとっては新鮮な活動で、春休み最後の思い出になったようだ。前半の「踊る」ワークショップで身体を思いっきり動かしたのちの後半で「創る」・「観る」ワークショップの即興をベースにした活動は、子供たちの心と身体が解放された状態で、創造力をフルで発揮し挑む姿勢が見られた。

今後の課題と問題点

■子供向けということで、安全面・健康面について最善の配慮が必要となる。また、事前にも当日にも保護者と密に連絡を取る必要があり、“子供”を扱うが故の対策をより万全にしていきたい。

■参加者の大体が普段からダンスに親しみのある子供たちであった。今後はダンス、身体表現が身近でない子供たちに対してどう広報していくか戦略をたてる必要がある。

●代表者：吉村利佐子

●E-MAIL：shinmairunrun@gmail.com

●URL：https://m.facebook.com/shinmairunrun/

●設立年：2016年 ●メンバー数：7名